



快挙

1. 労働・公衆災害ゼロ達成！
2. ナショナルサイクルルート道内初！
3. 管内教育機関で帯工・帯農が初受賞！

快挙！

令和2年度 「労働・公衆災害ゼロ達成」



令和2年度、帯広開発建設部発注工事・業務における労働災害発生ゼロを達成！

2020年4月8日に帯広第2地方合同庁舎にて北海道開発局長から一般社団法人帯広建設業協会に対して感謝状が授与され、同日、当部の竹内部長から管内8事務所等の工事安全連絡協議会に対して感謝状を授与されました。この快挙は、受注企業各社が高い安全意識をもって労働災害防止活動に精力的に取り組まれた賜物です。新型コロナウイルス感染防止対策等が必要な中、非常に大変な時期ではありますが、今年度も引き続き安全管理の徹底をよろしくお願いいたします。



トカプチ400祝

ナショナルサイクルルート指定

トカプチ400は帯広市を起点に上士幌町から大樹町まで十勝管内12市町村を8の字で結ぶ延長403キロのサイクリングルートです。三国峠や十勝平野、太平洋を巡り、雄大な十勝を存分に感じられます。道内でナショナルサイクルルートに指定されたのはトカプチ400が初めてです。ルートマップは、帯広空港、JR帯広駅構内帯広観光コンベンション協会、十勝川温泉観光ガイドセンター、ルート沿いの道の駅、幌加除雪ステーションなどで配布中です！



●ナショナルサイクルルートって???

ナショナルサイクルルート制度は、優れた観光資源を走行環境や休憩・宿泊機能、情報発信など様々な取組を連携させたサイクルツーリズムの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るため、ソフト・ハード両面から一定の水準を満たすルートを国が指定することで、日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートとして国内外にPRを行い、サイクルツーリズムを強力に推進していくものです。



Check !



快挙!

帯広工業高校・帯広農業高校 令和3年河川功労者に決定

2021年河川功労者に帯広工業高校・帯広農業高校が選出されました！帯広開発建設部が進める十勝川中流部の市民協働の川づくりで、川づくりに参加した高校生の草地復元や湿地環境調査などの取り組みが認められました。河川功労者表彰は、河川の理解を深めるために1949年から実施されており、十勝管内で教育機関が受賞するのは初めてです。おめでとうございます！

帯広工業高校の取り組み

帯広工業高校環境土木科は、学校教育プログラムの一環として、河道整備に伴い消失する湿地や草地環境の再生に向けての取り組みや生態調査を続けるなど河川環境の保全に大きな役割を果たしています。また、当高校の教育プログラムは、第1学年から第3学年までの3年間で一貫した学習となるよう進められています。※第1学年では環境教育と測量実習、第2学年は湿地再生に向けた計画・実施演習、第3学年は防災教育や水文観測技術の向上教育など。



帯広農業高校の取り組み

帯広農業高校では、自主性を育てる教育プログラムの一環としてクラブ活動を通じ、河道整備に伴い消失する湿地や草地環境の再生に向けた取り組みにより河川環境の保全に大きな役割を果たしています。湿地の再生については、魚類調査や自生するガマ（アイヌ民族の祭事等に用いられるゴザの原料として供される）の生育域拡大に取り組んでいます。この取り組みについては、高校生自らが発表の場を設け、広く地域住民へアピールするなど、地域協働の川づくりの理解促進に大きく寄与されています。



十勝中流部の市民協働の川づくり

帯広開発建設部では、十勝川中流部（すずらん大橋～千代田分流堰）の治水対策のため、河道の掘削を行うにあたり、より良い川づくりに向けてその具体案を検討することを目的に「十勝川中流部川づくりワークショップ」を開催（平成22年7月～平成24年3月）し、河道整備の方向性を示す川づくり案をとりまとめました。その後、ワークショップメンバーを中心に「十勝川中流部市民協働会議」が結成され、地域住民が計画策定から工事完成に至るまでの期間を一貫して川づくりに関わっている取り組みです。